

のぼりバツ

広報

● 5月15日春のクリーン作戦

「春のクリーン作戦」は、連休前に行った登別温泉地区を除く市内ほぼ全域で町内会が主体となり行われました。午前8時、道路の隅にたまった泥や砂をきれいに取り除く家族連れの様子があちこちで見られました。(写真は登別本町会の皆さん)



特集

6月は環境月間です(環境の日6月5日)

- ◆施設使用料・下水道使用料が変わります
- ◆ごみの分別徹底を
- ◆さらに「手作り植物図鑑」をまとめた川瀬寿雄さん

6/1
1994
No.524

7月1日から

施設使用料が 変わります

市は、施設の適正な維持管理と市民負担の公平化のため、施設使用料の改定を行うことになりました。

なお、これまで使用料を免除されていた団体についても一部を除き、電気料や暖房料などの実費相当分を負担していただくことになりました。

▽対象施設

- ・市民会館 (☎1100)
- ・鷺別公民館 (☎8823)
- ・登別公民館 (☎1100)
- ・登別温泉公民館 (☎社会教育課)
- ・鉄南ふれあいセンター (☎2966)
- ・各児童館
- ・(☎5634 児童家庭課)
- ・労働福祉センター (☎5044)
- ・婦人センター (☎3511)
- ・しんた21 (総合福祉センター) (☎0100)
- ・総合体育館 (☎5552)
- ・市民プール (☎5588)
- ・郷土資料館 (☎1339)

▽実施時期 7月1日から

使用料の改定内容、免除及び減額対象となる団体については、各施設にお問い合わせください。

鷺別公民館



1号和室を9:00～12:00まで使用する場合
 旧 使用料300円暖房料300円
 新 使用料350円暖房料140円
 減額 使用料 20円暖房料140円

市民会館



木工室を9:00～12:00まで使用する場合
 旧 使用料600円暖房料100円
 新 使用料700円暖房料 60円
 減額 使用料 20円暖房料 60円

旧・新 は、一般の方が使用する場合の額です。

減額 は、減額対象となる団体（サークル活動などを行っている方）に負担していただく実費相当分です。

暖房料 は、燃料等にかかる実費相当分です。

鉄南ふれあいセンター



会議室を13:00～17:00まで使用する場合
 旧 使用料 900円暖房料400円
 新 使用料1,000円暖房料210円
 減額 使用料 40円暖房料210円

登別温泉公民館



和室を13:00～17:00まで使用する場合
 旧 使用料400円暖房料200円
 新 使用料250円暖房料250円
 減額 使用料 10円暖房料250円

登別公民館



1号室を18:00～22:00まで使用する場合
 旧 使用料1,100円暖房料250円
 新 使用料1,300円暖房料520円
 減額 使用料 80円暖房料520円

婦人センター



調理実習室を13:00～17:00まで使用する場合
 旧 使用料800円暖房料300円
 新 使用料800円暖房料200円
 減額 使用料 70円暖房料200円
 ガス使用の場合は、210円加算

労働福祉センター



研修室を18:00～22:00まで使用する場合
 旧 使用料 900円暖房料300円
 新 使用料1,100円暖房料130円
 減額 使用料 40円暖房料130円

各児童館



美園児童センターの1号室を9:00～12:00まで使用する場合
 旧 使用料700円暖房料200円
 新 使用料550円暖房料220円
 減額 使用料 30円暖房料220円

下水道ご利用のみなさんへ 下水道使用料が変わります

8月分の検針から



▲若山浄化センター

▼管理制御室

平成2年10月から供用を開始した下水道の使用料は、諸物価の値上がり、下水道施設の整備拡張に伴って借入金の返済額も増え、このままでは健全な財政運営を維持することが困難となってきます。



下水道事業の円滑な推進と財政運営の健全化を図るため、今年3月の市議会定例会で料金改定が可決され、新料金は8月検針分から適用されることになりました。

今後、経費の節減に努め、効率的な下水道運営を進め、下水道の維持管理に万全を期してまいりますので、皆様のご理解とご協力をお願いします。

なお、7月1日以降に転入、下水道の新規利用者は、7月分の検針分から適用となります。

改定率 一般用 平均11.07%

〈新料金表〉

下水道使用料(1か月につき)

用途	基本料金(1か月につき)		超過料金	
	基本水量	金額	水量	1㎡につき
一般用	8㎡まで	1,184円	8㎡を超え 20㎡まで	153円
			20㎡を超え 50㎡まで	158円
			50㎡を 超えるもの	163円
公衆 浴場	100㎡ まで	2,500円	100㎡を 超えるもの	25円

〈計算例〉

水道水20㎡使用した場合の1か月当たりの下水道使用料は、

基本料金 8㎡ 1,184円

超過料金 12㎡×153円=1,836円

小計 3,020円

合計 3,020円×1.03(消費税)=3,110円となります。

▷問い合わせ 下水道課(☎9052)へ



しんた21 総合福祉センター



多目的ホールを9:00~12:00まで使用する場合

旧 使用料2,600円暖房料400円

新 使用料2,600円暖房料400円

減額 使用料 250円暖房料400円

総合体育館

◇個人使用の場合

大人100円、高校生50円、

中学生以下30円

◇入場料をとらない

団体使用の場合

アリーナを9:00~12:00まで

アマチュアスポーツで全面使用する場合

旧 使用料3,000円暖房料 600円

新 使用料3,900円暖房料1,880円

減額 使用料1,760円暖房料1,880円



市民プール



旧 大人、勤労青少年、高校生150円

小・中学生50円

新 大人、勤労青少年、高校生200円

小・中学生70円

郷土資料館



旧 大人100円 小・中学生50円

新 大人150円 小・中学生50円

持っていきません

収集しません!

これは、市が収集しないごみと なっていますので収集しません。

販売店か専門業者
又は、許可業者に
相談してください。

登別市環境衛生課
☎85-2958

ルールを
守ってネ!



ルールを守っていないゴミには、このシールを貼っています。



4月からごみの新しい条例がスタートし、市が収集しないごみを定めています。(平成6年3月1日号を参照) ごみを適正に処理するためには皆さんの分別が必要です。資源として活用できるものは、ごみとして出さないようにするなど、ごみの減量に努め、ごみを出すときはルールを守って出してください。

市が収集しないゴミは
ごみステーションに出さないでください
排出禁止物

◆ごみとして出せないもの

- ・有害性、感染性、危険性、引火性のあるもの
- ・著しく悪臭を発生するもの
- ・長さが1・5mを超えるもの
- ・容積が200ℓを超えるもの
- ・重さが100kgを超えるもの
- ・収集運搬、処分に支障のあるもの



オートバイ・スクーター・ピアノ・灯油のホームタンク・ドラム缶・冷蔵庫・スプリング入りマットレスなど

処理方法

自分で直接市の処理施設に搬入するか、許可業者に依頼してください。(オートバイのバッテリーは除く)



廃車・タイヤ・車等の廃油・劇物・農薬の容器・プロパンガスボンベ・消火器・バッテリー

処理方法

販売店、専門の業者または許可業者に相談してください。



燃やせないゴミ

市の処理施設

燃やせるゴミ



最終処分場 千歳町



ごみの搬入時間(年中搬入できます)

◆燃やせるごみは、9:00~17:30までに清掃工場に搬入してください。
◆燃やせないごみは、9:00~16:30までに清掃工場に計量し、17:00までに最終処分場に搬入してください。
※土曜日・日曜日・祝祭日も同じ時間です。

清掃工場と最終処分場に搬入したごみには、処分手数料がかかります。
燃やせるごみ100kgにつき……160円
燃やせないごみ100kgにつき……190円

清掃工場 幸町



このごみは



事業系のごみ

◆事業活動によって出た事業系ごみは、事業者自身が処理することになっていますので、少量であってもごみステーションに出さないうでください。

処理方法

事業者自身で市の処理施設に搬入するか、**許可業者に依頼**してください。

一時的に多量に発生する

◆引越越し、物置の片付けなど一時的に出るごみの量が200リットル(ごみ袋6袋相当)以上となる場合は、ごみステーションに出さないうでください。

処理方法

自分で直接市の処理施設に搬入するか、**許可業者に依頼**してください。

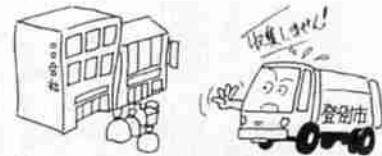
普通車のタイヤの場合

A業者の場合

- 業者に引き取りを依頼した時
1本につき 処分手数料600円
 - 直接業者に持ち込んだ時
1本につき 処分手数料300円
- 詳しくは販売店、専門の業者にお問い合わせください。

中型冷蔵庫(210ℓ)の場合 重さが100キログラム

- 自分で市の処理施設に搬入した時
処分手数料 190円
清掃工場に計量した時に処分手数料を支払い、千歳町の最終処分場まで搬入してください。
- 許可業者に依頼した時
処分手数料のほかに収集、運搬料金がかかるため、1,000円から3,000円位。詳しくは許可業者にお問い合わせください。



許可業者

小林興業 ☎ 1222
三協資源(株) ☎ 9681
登別クリーンサービス(株) ☎ 0870
(有)登和清掃 ☎ 0200

許可業者に依頼したときは、処分手数料のほかに収集、運搬料金がかかります。



ごみの

不法投棄は

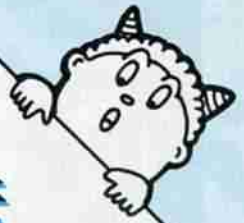
やめてください

ごみの不法投棄は土地の所有者や地域の皆さんに迷惑をかけるばかりでなく、環境破壊にもつながりますので、絶対にしないでください。ごみを不法に投棄した場合は、法律で厳しく罰せられます。



禁止看板があっても心ない人によって投棄されたごみ

▽問い合わせ 環境衛生課 ☎ 9582



西 走

アイヌ言語学者 知里真志保博士 資料保存室完成

登別出身のアイヌ言語学者、故知里真志保博士の資料保存室と、織物教室の作業所の2つの施設が、鉄南ふれあいセンターに完成しました。

保存室には「知里真志保著作集」や知里博士の家族の写真、関連書籍、年譜のほか、アイヌの儀式用具など約200点が並んでいます。保存室は毎週水、金曜日にオープンしています。それ以外の日の見学は北海道ウタリ協会登別支部（☎01062）に問い合わせください。



▲鉄南ふれあいセンター2階に完成した資料保存室

私が見た登別

自然がたくさんありますね



すずき ましょうじろう
鈴木正次郎 さん
(常盤町・34歳)



—いつ登別市に来ましたか
平成5年3月です。

—それまではどこに
愛知県豊川市に10年ほど住んでいました。

—豊川市はどんな町ですか
東海道の宿場町で、豊川稲荷の門前町として発展した町です。四方に幹線道路が延びているので、ドライブするには最適でしたね。新幹線の車両を製造する日本車輛の工場があります。

—来る前の登別市のイメージは
九州出身で、北海道には今回

の転勤で初めて来たので、登別の名前を聞いても、温泉のイメージも浮かびませんでした。

—住んで見ての印象は
自然がたくさんありますね。釣りやゴルフ、山菜採りなど、家族で自然とふれあい、楽しむ機会が増えました。

—登別市と豊川市を比べて
市の中心がどこなのかわかりにくいのと、市民が参加して、楽しめる祭りが少ない感じがします。豊川市には、四季ごとに桜のトンネルを生かした祭りや、三河地方独特の手筒花火の祭りなど、市民が参加して楽しめる祭りがたくさんありましたよ。

—不便さは感じませんか
病院が足りない感じがします。幼い子供が3人いて、急病が多いせいか、街の中心に総合病院や急病センターが欲しいですね。

4月1日から使用開始したした21（総合福祉センター）のトレーニングルームの利用者が5月18日オープン以来37日目で千人を記録。ちょうど千人目となったのは、片倉町にお住まいの今田ヒデ子さん（69歳）。「家の近くにあるので、私は週に1回通って体を動かしています」と、センター長から記念品を贈られニッコリ。

トレーニングルームは、体力測定を受けてから利用すると健康づくりに効果的です。体力測定日は保健福祉課（☎0100）へ問い合わせください。

好評です 「新たな21「トレーニングルーム」 利用者1,000人達成



▲ラッキーな1,000人目となって小林センター長から記念品を贈られた今田さん



東 奔

学校週5日制への対応事業として郷土資料館では、毎月第2土曜日に子供達が楽しく学べる事業を開催しています。

この日は青空の下で「果箱作り」が行われ、5歳から12歳までの約10人が参加。資料館のボランティアメンバーの指導を受けながら金づちを使って5つの果箱を仕上げ、資料館の庭木に取り付けました。

その後、竹製の手作り弓矢や竹馬などで遊び楽しい一日を過ごしました。参加した子供達からは早くも「来月は何をやるの?」と資料館での催しを楽しみにする声も聞こえました。



▲4テーマパークを循環している「登別ぐるりんGO」

発車オーライ 登別ぐるりんGO

登別市内の4テーマパークを循環するシャトルバス「登別ぐるりんGO」が、4月24日から運行開始しています。

バスの運行は、クマ牧場、マリパーク・ニクス、伊達時代村、中国庭園天華園でつくる登別テーマパーク連絡協議会が、観光客の利便向上と登別観光への波及効果を期待して行っているものです。

バスは、JR登別駅から登別温泉間の4テーマパークを巡り、1日5往復、11月6日まで観光客を運びます。最長区間の駅から温泉までの料金は300円です。

車体には、各施設のキャラクターなどをモチーフにしたカラフルなイラストが描かれています。



▶お父さんと一緒に果箱づくり

果箱づくりと
昔の遊びで
楽しみました

仲間たち

布の本製作26冊
「好きだから、続くんですね」



登別市ボランティアの会

代表 井上ハルヨ
(☎066825)

昭和52年8月に発足。毎週金曜日「しんた21」のふれあいキッドルームで午前10時から午後3時まで、布の本やフェルト生地で作るおもちゃ作りを取り組んでいます。

平成2年から障害をもつ児童の教育に役立ててもらっため市内6校の小学校に布の本やお天気カレンダーを贈っており「本が傷んだりほつれたり、つくろいます。いつまでも大切に使うしてほしいですから」と、井上会長さん。

日用品などのバザー「友愛セール」では、会員手作りのおもちゃや巾着などが人気で9月下旬の開催にむけて準備中です。毎回バザーの益金は社会福祉協議会に寄付し、額は300万円以上。

これ以外の活動では、特別養護老人ホーム「緑風園」、養護老人ホーム「恵寿園」への慰問や肢体不自由児通園施設「のぞみ園」に手作りのおやつや布のおもちゃをプレゼントするなど幅広く、息の長い活動を行っています。

現在会員は女性ばかり35名で平均年齢はちょっと高め。若いお母さんたちの加入を待っており、「みんなが集まって作るのが楽しいです」と、みんな声をそろえます。



きらり

草花を愛し続けて20年
手作り植物図鑑をまとめた

川瀬 寿雄 さん
(富士町・76歳)

川瀬さんは、植物観察を20年間続けています。ふだん私たちが見逃しがちな植物の可憐で繊細な美しさを見つけ出し、その活動の成果を、このほど手作りの「植物図鑑」にまとめました。約千200種類におよぶ、登別の花や草木が紹介されています。川瀬さんに、植物観察の魅力についてお話を伺いました。

「千200種類とはすごい数ですね。」

「最初の目標は、千500種類でした。でも、最近では1年に2、3種しか見つからなくなりましたので、今回図鑑にまとめました。」

植物観察は、退職後、友人に誘われて始めました。いまでは、晴れた日に家の窓からオロフレ山が見えたら、じっとしていられない体になってしまいましたよ(笑)。

雨の日は、収集した資料の整理日です。最初は、花の名前をただ羅列して整理してたんですが、他人が見てもわかるようにと、花の絵を描いて入れるようになりました。

標本は作りません。植物を愛するには、自然を大切にすることが必要だと思っています。持ち帰ってはだめですね。

植物はどのように探すのですか。「歩けるところなら、どこへでも入って探します。山中の道が無い所なんかは、滑

らないようにわらじを履いて川の中を歩きますよ。登山と違って、キョロキョロして歩くので、なかなか前に進まないんですけどね(笑)。

植物を見て、すぐ名前がわかりますか。「ほとんどわかりますよ。暇さえあれば、皆さんが小説を読むように植物図鑑を見たいです。だいたい頭に入ってますよ。」

観察を20年も続けさせる、植物の魅力はどこにありますか。「1本のブナの木を観るために、今年はまだ3回も黒松内町(ブナの北限の町)に行きました。今ごろどうしているかなと想い、恋人に会いに行くような気持ちにさせてくれる、それが魅力かな。」

「植物図鑑」は、郷土資料館と図書館に寄贈されています。川瀬さんの活動は、今月10日発売の小学館のアウトドア月刊誌「B・E・I・P・A・L」7月号で5頁にわたって紹介されます。この本は、市立図書館に備えています。



◀1,200種類の草花を紹介している植物図鑑

友達の輪

わが家の自慢

34年前のときめき



田中 茂子 さん

(若草町・52歳)

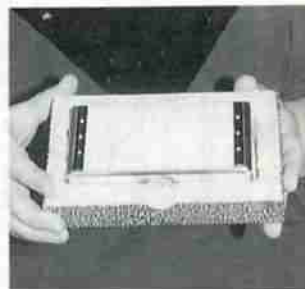
前回登場の谷口さんからご紹介いただいた田中茂子さん。田中家のご自慢を伺うと「健康と2歳になる孫ですね」とのこと。茂子さんにとっての宝物は何ですかと聞きいったところ、大切な思い出の品を出してくれました。

勤めた年のクリスマスに、会社の1年先輩だったご主人がプレゼントしてくれたという化粧ケース。少しテレながら見せてくれたケースの蓋には貝細工が施されており、真新しいまま箱に納まっていた。34年前、何をプレゼントしようかと迷い、店員に相談して求めたものとのこと。社会人2年生の若者にとってはかなりの高価なものだったに違いない。男前のご主人に伺うと「そうなんです、側は全部、金ですからね」

とニコリともしないでおっしゃるので、一同大笑いとなった。

ご主人の脱サラに伴い、照れながら見せてくれた化粧ケース。管工事業を始めて17年間、一度も病気をしたことがないと言う。「健康に留意し、早め早めの予防を心掛けてます」とおっしゃる田中さん。事業が軌道に乗るまでの苦勞など、少しも感じさせない明るく若々しい方で、本当に楽しいインタビューをさせていただきました。

田中さん、お宅の「わが家の宝物」はあの明るさとバイタリティだと私は思います。
(市民リポーター 小松裕子)



となりまち ほっとライン

室蘭市



大海原の出会いと感動

イルカ・鯨ウォッチング

室蘭の外海は、魅力の素材がいっぱい。愛嬌ふりまくイルカや悠然と泳ぐ鯨たちとの出会いは、まさに感動そのもの。あなたも大海原への感動体験をしてみませんか。

▷ 運航日 7月17日までの土・日・祝日
7月22日から8月22日までの月・金・土・日曜日

▷ 運航時間 午後2時(出港)～午後5時(帰港)

▷ 乗り場 室蘭港(栗林商会前)

▷ 使用船 エルムⅡ(12人)、オルカ(13人)

▷ 料金 中学生以上5千円、小学生以下2千円

▷ 申し込み 室蘭観光協会(☎0102)

伊達市



新鮮な海の幸がいっぱいの

「有珠磯まつり」へどうぞ

伊達市の夏本番を告げる海の季節は、恒例の「第15回有珠磯まつり」から始まります。今年も、新鮮で豊富な海の幸の販売と、大人から子どもまで楽しめるゲームやアトラクションなど多彩なプログラムを用意して、皆さんのお越しをお待ちしています。

海の幸を味わいながら、夏の日をお楽しみください。

▷ 日時 7月3日(日)午前9時から午後3時まで

▷ 場所 有珠海水浴場中央駐車場前浜

▷ 問い合わせ 伊達市商工観光課
(☎0142 ☎3331)

栄えある 消費者保護功労者



こうのとしふみ
河野敏文さん
(中央町・79歳)

経済企画庁長官が消費者の利益の擁護や増進に功績のあった人を表彰する「消費者保護功労者」に中央町在住の登別消費者協会顧問河野敏文さん(79歳)が選ばれました。河野さんは、昭和48年第1次オイルショックによる生活不安を抱く消

費者の権利や利益を守るため、昭和50年4月登別消費者協会の設立に自ら参画し、会長に就任しました。以来現在まで18年間要職につき、指導者の育成や学習活動を積極的に行っていました。河野さんは、「この度の表彰は、私一人の力ではありません。長期にわたり一緒に活動してきた会員、役員みんなが受けた表彰だと思っています」と話してくれました。

春の叙勲 勲六等瑞宝章



かとうひろし
加藤 皓さん
(鷺別町・64歳)

平成6年の春の叙勲で鷺別町在住の加藤皓さんが勲六等瑞宝章を受章しました。加藤さんは、昭和26年小樽海上保安庁に入庁し釧路、函館、室蘭などで海上保安官として40年間海難の救助や海上の取り締まりに尽くしてき

ました。昭和29年5月の釧路沖の暴風雨や同年9月の洞爺丸台風の時は大勢の犠牲者を目にし海の恐ろしさを知りました」と、当時を振り返り、「何も誇れるものはないんです。海や船が好きで、40年間元気に勤めあげただけです。船長としては、乗務員に人が一人も出さず安全に勤務できたことが何よりうれしく思っています」と話してくれました。

海上の安全に精力を注ぐ

ました。

昭和29年5月の釧路沖の暴風雨や同年9月の洞爺丸台風の時は大勢の犠牲者を目にし海の恐ろしさを知りました」と、当時を振り返り、「何も誇れるものはないんです。海や船が好きで、40年間元気に勤めあげただけです。船長としては、乗務員に人が一人も出さず安全に勤務できたことが何よりうれしく思っています」と話してくれました。

フレッシュ ボイス

制服のブルーのたてじまが入った白い上着とストラップがとても似合う千春さん。

会社では、産業用電子部品の高密度表面実装プリント基板の製造を担当。

「最初の頃は、ハンダゴテが上手に使えなかったり、部品の名前がなかなか覚えられず困りました」と、優しい声で話す。

車が大好きな彼女は、「休みの日は高校時代の友達とドライブを楽しんでいます。職場も大変明るくて仕事もしやすく毎日が充実しています」と、ひとみを輝かす。

「結婚してからも仕事を続けたいですね」と、笑顔で語るフレッシュユさん。

さしもとちる
岸本千春さん (千歳町・20歳★さそり座★)

誌 大和電機北海道勤務



いっしょになっても

生涯学習

80歳の老人大学 二年生



佐藤 ふみさん(富士町・80歳)

生涯学習は、創造的にいろいろな課題に取り組みすべての事を言います。

老後の余暇時間は一日当たり5〜7時間はあるとも言われていますが、より有益に過ごすには一人で閉じこもらず、地域の学習講座や老人クラブ・集会などに

参加して、自分から進んで人のために役立ったり、仲間からいろいろなと学びとることも大切です。

大正2年生まれ佐藤ふみさんは、老人大学や老人クラブでいろいろな活動に参加しています。老人大学

入学のきっかけは、以前から会員になっていた老人クラブ「富士の白雪」の会長や仲間に誘われたことです。「毎月の講義はとてもためになるし、日帰りのバス旅行は、何より楽しみです」と話しています。

老人大学での学習のほか、「老人クラブで毎週2回カラオケや民謡を楽しんで



健康体操イチ、二、サン(富士会館にて)

ご利用ください

ひとりで悩まず教育相談
希望のダイヤル ☎ 881255

子育てアドバイス
生きがいダイヤル ☎ 881818

ひとりで悩まずマズ相談
いじめ相談電話 ☎ 850085

(生涯学習推進室)

ます。誘われれば何でもやってみるのが楽しいねえ。ゲートボールで体を動かすのは特に気持ちがいい。これもみんな健康だからできること」と言う佐藤さんに、いくつになっても生涯学習を続ける意気込みが強く感じられました。

鬼大使通信①



ピーター・ヘンティさん (26歳)

〈プロフィール〉
平成2年から2年間英語指導助手として市内の中学校で勤務。平成5年8月から登別市ふるさと大使(鬼大使)。

登別の皆さんお元気ですか。わたしは今、ふるさとヨーク市から車で約3時間のベンシルバニア州トワング市にいます。今年のは、アメリカ東部を再三寒波が襲い、登別では体験できない厳しい寒さが続きましたが、ようやく、待ちに待った春がやってきました。4月16日からはマ釣り解禁となったので、時々釣りを楽しんでいます。いつも「今ごろの登別はどんなだろう」と妻と思いつかべています。ほかほかとした陽気のもと、鉾山町をぶらぶらしたり、山菜採りをしたり、山菜採りがなつかしく思い出されます。3月には、妻が日本から持ってきたひな人形を学校に飾って「ひな祭り」を紹介したり、教室をにわか仕立ての茶室に変え、クラスの子に茶道を体験させるなど、日本語を始め伝統や文化などを教えています。これらは、地元の新聞で大きく報道されました。(写真)近々、習字を教えようとプランを練っています。今後、トワングと登別の小中学生が文通やビデオレターの交換をすることなどを考えており、盛んな交流ができたなら素晴らしいと思います。こちらの夏休みは6月20日から始まる予定です。



鬼大使(ふるさと大使)は登別市にゆかりのある首都圏や海外在住者に情報収集と登別のPRを任命している制度です。

幌別郡から明治10年(1877)札幌郡白石村に転居した片倉景範を慕い、旧家臣30余戸も移住したので、郡内は火の消えたような寂しさになりました。

このような変動の中で、明治14年から同16年にかけて香川県より47戸、同18年より20年にかけて兵庫県約50戸、徳島県約70戸、その他静岡県などからの移住者を見ます。明治10年の戸数65戸が同25年435戸に増加。これから自由移民の開拓で農業・水産業・狩畜業の生産が高

まります。狩畜業とは鹿・テン・カワウソ・キツネ・ヒ

グマなどの狩猟と馬の放牧でした。入植した開拓者も、森林を切り拓き畑地にしなければ国から土地ももらえません。労働で破れた仕事着の補充もつかず売店もありません。苦勞して実った農作物を買う人も付近にいないので現金の収入もありません。それにヒグマや鹿・カラスが畑を荒らし、登別牧場ではヒグマ・野犬らに21頭の馬が襲われるという被害を出したのでクマ狩りをして8頭を獲殺していますが生活は大変でした。

郷土史 郷土史 郷土史

〈49〉

登別郷土文化研究会 宮武 紳一

幌別町を訪ねて……その5

「バッタの襲来」と「葉タバコ」を育てた人達

開拓中、自然の脅威は思いがけない事案も起こします。明治13年十勝地方で大発生したバッタ(いなご)の飛来は、日高・苫小牧・白老・登別地方を襲い全道的にも大被害を与えました。

バッタ襲来の状況は「天を被うほどのバッタが飛来すると、今まてまばゆいばかりに輝いていた太陽も一時は日食のように薄暗く、その羽音は数10羽の大鷲が眼前に飛ぶごとく騒がしく、見る間に畑作を食い尽くしてしまう。その凄まじさに、人々は大声をあげて叫び、板切れで叩きつけ火を焚くが何の効果もなく、ただ呆然と見守るばかり」と丈草の記(宮武藤之助)は記録していますが、バッタの来襲を「飛蝗」と言い「飛ぶ早さは1分間に650^{以上}、通り過ぎた後は緑色も無くなった」と語られています。

このような中でも村は着実に発展してきますが、幌別の特産物として有名を馳せたのが「葉煙草」の栽培でした。

日本へのタバコの移入は、ポルトガル人の来航(1543)以後と伝えられますが、たちまち全国

に広がり、慶長年間(1596、1615)には本州各地で栽培され、特に西日本では「男女を問わず、子供までタバコをふかしていた」という記録もあります。

タバコ・キセルもポルトガル語。喫煙の大流行はタバコの火の不始末から出火もあったので、江戸幕府はぜいたくの禁止とともに禁煙令を出し、タバコ栽培者の土地を没収。大名の中に喫煙者を処刑した例もありましたが、何れも一時的禁令で終わり、喫煙風習の流行はタバコの商品価値を全国的に高めます。ちなみに、日本人の喫煙の方法は深く吸い込み中枢・知覚神経の特異な感覚を味わう傾向が強かっただけに酒による陶酔感と



いなご駆除のようす

共通していました。昔の酒盃のやりとりと同じ「タバコの回しのみ」も仲間意識の共食の風俗でした。また仕事中の小休止を「二服しよう」、地方により「たばこにしよう」と言うことは「お茶の時間だ」と同じように、喫煙の風習は全国に広まり、明治末まで高齢者女性の喫煙は当たり前でした。

それにしても、幌別でのタバコ栽培は珍しく、開拓使の指導で明治12年初めて宇ハマ(幌別町)で試作され順調な成育のようでしたが、当時の村内特産品は、蚕を飼ってマユをとり絹織物に仕立てる養蚕業が中心だったのでタバコは奨励されなかったようです。

ところが明治25年、四国阿波国で商業・農業をやりタバコ栽培に経験のある井上藤吉が宇ハマに居住し、本格的にタバコ栽培を行い、成育も良く、香り・味・色つやも良かったので乾燥させた葉タバコを札幌に送り「北海熊」という名称でキセルで吸うきざみタバコとして売り出されました。

幌別での葉タバコの生産は、その後専売局で幌別村を「タバコ耕作の地」に指定、更に外国タバコ栽培の指導もしていたことが「北海道殖民公報」に記載されています。

まちかどぶらり



河川距離標示板

幌別川 新川町

野鳥ファンや多くの市民に親しまれている幌別川の堤防に、野鳥の写真入り河川距離標示板がお目見え。河口からの距離を標示しているこの看板は、

室蘭土木現業所が万一の洪水時に活用するため4地点に設置したものです。看板には同川にやってくるハクチョウ、オオヨシキリなどが紹介されています。

人のうごき

- 人口 57,134(-73)
- 世帯 20,884(+82)
- ()は前月比

平成6年4月末日現在

鳥名 クマガゲラ
観察時期 年中



(文・写真提供 日本野鳥の会会員ヨシキリの会)

▷問い合わせ 伴野さん(☎7515)

僕はクマガゲラ。めったに人間様に姿を見せない深窓の御令息。前身黒すくめだけど頭のとっぺんは赤で、目のふちどりは豪華な金色。日本のキツツキの仲間では一番の大柄で、体長は約45センチ。カラスくらい大きさなんだよ。

僕の好物はアリ。腐った樹を突っついては食べるので、枯れ木も大事な資源なんだ。僕の恋の季節は、残雪深い3月ごろに始まるんだよ。山中を一際高い声でキョーンキョーンと鳴き、見通しの良い木を見つけると思いつきドリミング(クチバシで木を突いて音を出すこと)して存在を誇示するんだ。めでたく彼女と出会うと愛の巣を掘るんだけど、これが難しいんだなあ。森がドンドンなくなって巣穴に適した樹が少なくなんだよ。

僕は来馬岳で細々と暮らしているけど、仲間うちでは登別温泉に現れるのもいるんだよ。生きて行くのって厳しいね。



この広報紙は再生紙を使用しています。